

市町村名	うるま市						
平成26年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-⑤	海中道路ライトアップ観光景観形成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-2-(ウ)	
担当部課名	企画部 企画政策課	事業実施(予定)年度	平成24~26年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
						Ⅲ-1-(1)	
事業内容	知名度の高い海中道路の大橋をライトアップすることによって、当市における観光の付加価値向上と満足度を高め、観光誘客の促進と観光消費額の拡大を図る。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	24年度(繰越)	26年度	26年度(繰越)	27年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	120,000	—	295,060	—	
		(b)予算現額	120,000	—	297,727	—	
		(c)増減額(b-a)	0	—	2,667	—	
		(d)繰越額	—	120,000	—	128,930	
		A. 計(b+d)	120,000	120,000	297,727	128,930	
		B. 執行済額	0	29,736	168,797	124,886	
		うち交付金充当額	0	23,788	135,037	99,909	
		次年度繰越額	120,000	—	128,930	—	
		執行率(%) (B/A)	0.0%	24.8%	56.7%	96.9%	
	予算の状況の説明	平成26年度においては、小型風車等の執行ができたが、ライトアップ機器部分については、橋梁路盤の整備工事の完了後の設置となったため、128,930千円については平成27年度に繰り越した。 また、施設整備における既存施設整備分等の経費3,019千円については、対象外とした。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	海中道路大橋へのライトアップ機器の設置	目標	(基本計画・基本設計の実施)	(土質調査、実施設計、土木工事、電気工事の実施)	()	()	
		実績	基本計画・基本設計の実施	土質調査、実施設計、土木工事、電気工事の完了			
	ロードパーク内に、ライトアップ電力用の小型風車を2基設置していく	目標	(基本計画・基本設計の実施)	(風車設置2基系統電力工事)	()	()	
		実績	基本計画・基本設計の実施	風車設置2基系統電力工事の完了			
達成状況説明	平成25年度に基本計画・基本設計を実施し、平成26年度に、実施設計及び小型風車2基を設置し、ライトアップ機器については、県が実施する橋梁耐震化整備後の設置となったため、平成27年度へ繰り越しとなったが、5月に完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	ライトアップの設備設置 工事完了	目標	()	(基本計画・基本設計・整備工事)	(一式)	()	()
		実績		基本計画・基本設計の実施	一式		
	自然エネルギー(風車)設置 工事完了	目標	()	(基本計画・基本設計・整備工事)	(2基)	()	()
		実績		基本計画・基本設計・整備工事	2基		
	進捗状況説明	ライトアップ機器については、橋梁耐震化の整備(県施工)後の工事実施となったため、工事期間の延長(繰越)となったが、5月に完了した。 風車設置については、土質調査、実施設計及び工事(土木・電気)を実施した。また、風力発電について沖縄電力との調整等に時間を要したが、平成26年度内に2基の設置が完了し、目標を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) 当市では、屋間の通過型観光から、市内滞在時間の延長が課題であった。また、夜間の観光スポットが皆無であるため海中道路ライトアップによる、滞在時間の延長や夜間集客へのツールとして実施を予定した。 整備に対して、自然エネルギー(風力)発電を予定したが、電力会社との調整が計画通りならず、調整に時間を要した。 また、ライトアップ機器設置場所の橋梁について県が後年度に耐震工事を計画していたことから、早期実施を要望して実施年度の前倒し(平成26年度)が実現したが、工事実施期間が年度末までずれ込んだ為、一部工事が年度内に完了できず翌年度へ繰越となった。	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) 季節ごとの色合いの変化などを楽しめるバリエーション豊富な海中道路のライトアップを市内外へアピールしていく。 自然エネルギーの活用については、今後発電量などのデータをまとめ、電力会社との調整のもと、既存電力との連携ができないか、検討していく。 計画策定時に、他施設の活用を予定する場合は、関係者とこれまで以上に緊密に意思疎通を図るとともに、計画的な事業実施を行いたい。
	今後の取り組み方針 隣接する海中道路ロードパークのフットライトによる安全確保を行いながら、海中道路やあやはし館の施設と連携したイベントの開催などを進めるとともに、ライトアップ施設に関連する情報を市HPや広報誌などを通じて発信していく。また、民間活力を利用した、周辺地域のライトアップ景観を活かしたにぎわい作りについて検討をしていく。	

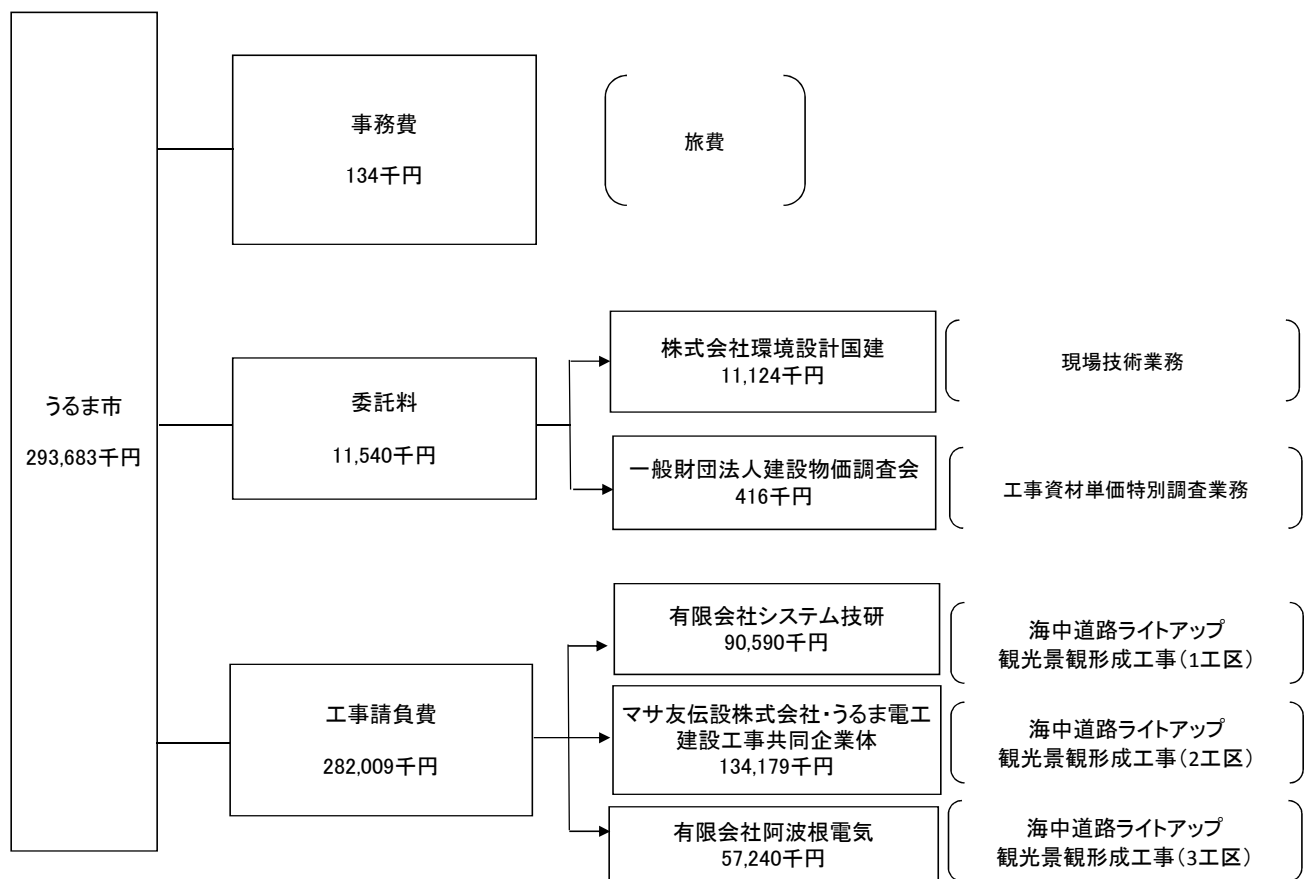
今後の取り組み方針

隣接する海中道路ロードパークのフットライトによる安全確保を行いながら、海中道路やあやはし館の施設と連携したイベントの開催などを進めるとともに、ライトアップ施設に関連する情報を市HPや広報誌などを通じて発信していく。また、民間活力を利用した、周辺地域のライトアップ景観を活かしたにぎわい作りについて検討をしていく。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額		交付対象 外経費
		市町村 負担金		
296,702	293,683	234,946	58,737	3,019



資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については工期延長などによる多少の増額があったが、適正な規模であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なもののなか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市						
平成26年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-⑦	石川イベント公園機能強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-2-(ウ)	
担当部署名	経済部 商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24~26年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
						Ⅲ-1-(1)	
事業内容	観光誘客を促進するため、石川イベント公園(通称「石川ドーム」)において、多彩な伝統芸能・文化をはじめ、うるま市ならではの地域資源等を生かした観光イベント等の多種多様なイベント開催ができる施設環境整備を実施する。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	26年度	26年度(繰越)	27年度
	予算の状況	(a)当初予算額	13,000	—	81,155	—	
		(b)予算現額	13,000	—	113,003	—	
		(c)増減額(b-a)	0	—	31,848	—	
		(d)繰越額	—	13,000		106,902	
		A. 計(b+d)	13,000	13,000	113,003	106,902	
	B. 執行済額		0	12,915	6,143	99,317	
	うち交付金充当額		0	10,332	4,914	79,453	
	次年度繰越額		13,000	—	106,902	—	
	執行率(%) (B/A)		0.0%	99.3%	5.4%	92.9%	
予算の状況の説明		土質調査、その結果による工法の変更、工事費の高騰等の理由により、31,579千円を2月補正で増額した。 また、トイレの土台となる杭打工事実施のための設計業務に係る土質調査に時間を要したこと等の理由により、工事費に係る106,902千円を27年度に繰越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	「石川イベント公園機能強化調査事業」に基づく施設整備の実施 ①観客席ベンチ設置業務 設計・工事 ②券売所整備業務 設計・工事 ③物産販売施設業務 設計・工事 ④便所設置業務 設計・工事	目標	施設整備の設計・工事の実施				
		実績	施設整備の設計・工事の完了				
達成状況説明	平成26年度に土質調査、磁気探査、実施設計を実施し、平成27年度に、磁気探査、建築・電気工事(ベンチ・券売所・売店・便所)、機械工事(便所)を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	観客席ベンチ設置業務 設計・工事完了	目標	()	(設計・工事)	()	()	()
		実績		設計・工事完了			
	券売所整備業務 設計・工事完了	目標	()	(設計・工事)	()	()	()
		実績		設計・工事完了			
	物産販売施設業務 設計・工事完了	目標	()	(設計・工事)	()	()	()
		実績		設計・工事完了			
	便所設置業務 設計・工事完了	目標	()	(設計・工事)	()	()	()
		実績		設計・工事完了			
	進捗状況説明	平成27年10月末で工事が完了し、平成27年11月からは、石川多目的ドームの施設機能を充実させた形で施設運営を行っており、今後「各種闘牛イベント」や「うるま発！冬季観光誘客促進イベント創出支援事業」などでの活用が期待される。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	大型の宿泊施設が少ない当市の状況から、域外に宿泊している観光客の市域への誘客は観光振興課題の一つでもある。本整備については沖縄自動車道石川ICに隣接し、また大型宿泊施設を擁する恩納村からのアクセスも容易な本施設を観光拠点の機能を効果的に付与するため平成24年度に実施した機能強化調査に基づき実施したものである。 以下の理由により27年度に繰越して事業を実施した。 ① トイレの土台となる杭打工事実施のための設計業務に係る土質調査に時間を要した。 ② 設計実施にあたり、闘牛組合を始めとする利用団体との密な調整が発生した。 ③ 「②」を踏まえた設計業務受託事業者との調整に時間を要した、 ④ ベンチについて、より多くの観客を収容するための形状及び設置方法について、設計業務受託事業者との調整が生じた。 今回の整備により、イベント主催者のイベント運営オペレーション機能や、来場者の施設環境は一定の向上は図られたことから、今後も更なる機能向上にむけた取り組みや新たなイベントの誘致・創出に向けた取り組みが必要である。	当初計画より工期が大幅に送れてしまったが、今後、事業実施に際しては事業関係者とこれまで以上に緊密に意思疎通を図るとともに、不測の事故が発生しても契約期間の延長がないよう余裕を持った事業計画を策定していく必要がある。 施設のキャパシティを鑑みた場合、来場者駐車場が圧倒的に不足している。今後の更なる施設本体機能の向上に加え、施設周辺駐車場の拡大等についても検討・実施していく必要がある。
今後の取り組み方針		
施設機能の充実により、MICEの誘致等に向けた取り組みも始まっている。今後も誘客拡大に向け、イベント等の誘致や創出に取り組んでいく。		
施設機能・施設周辺環境の整備・拡充を、整備内容に応じ他の国県補助金等の活用も視野に入れながら検討・展開していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
		105,705	105,460	84,367	21,093	245

うるま市
105,705千円

事務費
43千円

〔 役務費 〕

委託料
9,693千円

パセオ建築設計室
6,124千円

〔 石川多目的ドーム
機能強化工事設計業務 〕

パセオ建築設計室
3,569千円

〔 石川多目的ドーム
機能強化工事監理業務 〕

工事請負費
95,969千円

有限会社仲地建設
88,593千円

〔 石川多目的ドーム
機能強化工事(建築・電気) 〕

有限会社喜名興業
7,376千円

〔 石川多目的ドーム
機能強化工事(機械) 〕

資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は7,562千円であり、予算の7%程度となっているが、主たる理由が工事請負契約事業者を選定する際の入札残によるものであり、適正な規模と考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市						
平成26年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-⑨うるま市地域PRキャラクター制作事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-2-(イ)		
担当部課名	経済部 商工観光課	事業実施(予定)年度	平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開		
Ⅲ-1-(1)							
事業内容	うるま市を象徴するキャラクターをデザイン・着ぐるみ化し、市内外や県外で開催する各種イベント等において活用し、うるま市の認知度の向上を図る。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	26年度(繰越)	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,283	—			
		(b) 予算現額	7,226	—			
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 57	—			
		(d) 繰越額		726			
		A. 計 (b+d)	7,226	726			
	B. 執行済額		6,500	619			
	うち交付金充当額		5,200	495			
	次年度繰越額		726	—			
	執行率 (%) (B/A)		90.0%	85.3%			
予算の状況の説明		当初平成26年度内で業務を完了する予定であったが、当該キャラクターの商標登録に時間を要することがわかり、年度内に業務を完了することが困難であったため、商標登録等に係る費用を平成27年度へ繰越した。また、不用額については委員の方が業務の都合で会議に参加できなかったため、その分の費用(謝金・交通費)が発生しなかったことによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	デザインの公募活動 ・ポスターによる周知 ・新聞広告による周知	目 標	(公募活動)	()	()	()	
		実 績	公募活動の未実施				
	デザインの選定 ・選定委員会運営 ・WEB投票	目 標	(デザインの選定)	()	()	()	
		実 績	デザインの選定				
達成状況説明	デザイン案及びネーミング案の公募・選定について、当初は市民公募を行い、WEB投票にて選定する予定であったが、WEB投票による選定を行うことで委員会が意図しているものが制作できないと判断したため、WEB投票による選定は行わず、両方とも委員による投票にて決定するという方法に変更した。 実施内容については、デザイン案はデザイナーによるデザイナーズコンペを実施し、6名のデザイナーにご協力を頂き、1人2案(合計12案)を提出してもらい、その中から委員による投票を行った結果、現在のデザインに決定した。 また、ネーミング案については、市広報誌やHP、チラシなどを作成し、市民公募を行った。その結果570件の応募があり、その中から委員による投票を行い「うるうらら」に決定した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	キャラクター及び着ぐるみ制作:1体	目 標	()	(1体)	()	()	()
		実 績		1体			
	イラスト制作:20種	目 標	()	(20種)	()	()	()
		実 績		22種			
	進捗状況説明	・平成27年7月26日に「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」にて、「うるうらら」が着ぐるみで登場し、市民にお披露目を行った。 ・市の観光名所等とキャラクターが融合したイラストを22種類作成した。また、平成27年11月13日にうるうららの出演依頼及びイラストの使用に関する「うるま市まちキャラ使用取扱要綱」を制定し、市職員などにイラストを提供し、名刺や会議資料などに活用してもらっている。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・キャラクターの中に入る人については、「地域おこし協力隊」を活用しており、地域のイベントなどに幅広く出演し、うるま市の広報活動を行っているが、地域おこし協力隊の任期が3年であることから、3年後のキャラクターを務める人材をどうするか検討課題である。 ・着ぐるみが1体しかないため活動内容に制限が掛かってしまうことや、メンテナンス等に支障が生じている。	・引き続き地域おこし協力隊を活用し、運用を図りたい。また、地域おこし協力隊の採用時期については、現在活動している協力隊と時期を被せて採用し、引き継ぎを図りたいと考える。 ・今後の活動の幅を広げ、着ぐるみの維持管理を適正に実施するため、着ぐるみの数を増やすなどの工夫ができないか検討する。
今後の取り組み方針		
今後も地域のイベントなどに幅広く出演し、SNS等で情報発信をすることで、キャラクターの認知度を高め、より効果的なうるま市の広報活動に努めていく。また、ぬいぐるみやTシャツの制作などのグッズ展開にも力を入れていきたいと考える。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額
		7,119	7,119	5,695
				市町村負担金
				1,424
				交付対象外経費
				0
うるま市 7,119千円 委託料 7,119千円 株式会社エマエンタープライズ 7,119千円 うるま市地域PRキャラクター 制作業務				
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業委託の業者選定はプロポーザルによる企画提案を実施しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については不用額は約10万円であり、適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	うるま市						
平成26年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-②	農水産業振興戦略構築及び拠点施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-イ	
担当部課名	経済部 農政課	事業実施(予定)年度	平成24~29年度		沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(6)	
事業内容	当市は第1次産業が盛んな地域である。地域特性を発揮し、農水産業の6次産業化を推進するため、マーケットや複合施設の運営等に精通している民間事業者等と連携し、農水産業の戦略的展開を構築するとともに、豊かな農水産物の加工・流通施設、直売所及びレストラン等を併せ持つ複合施設を整備する。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	25年度(繰越)	26年度	26年度(繰越)
	予算の状況	(a) 当初予算額	19,017	602,251	—	175,988	—
		(b) 予算現額	18,725	458,560	—	173,162	—
		(c) 増減額(b-a)	▲ 292	▲ 143,691	—	▲ 2,826	—
		(d) 繰越額	—	—	449,641		95,908
		A. 計(b+d)	18,725	458,560	449,641	173,162	95,908
	B. 執行済額		18,119	5,427	442,679	77,254	82,089
	うち交付金充当額		14,495	4,342	354,143	61,803	65,671
	次年度繰越額		—	449,641	—	95,908	—
	執行率(%) (B/A)		96.8%	1.2%	98.5%	44.6%	85.6%
予算の状況の説明		土地収用法による事業認定の取得に係る事業認定庁との協議・調整に相当な期間を要したことで、国税協議及び用地・物件補償交渉の着手に遅れが生じた等で、平成26年度内での完了が困難であったため、翌年度へ95,908千円を繰り越し82,090千円を執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	複合施設の運営主体の選考会議の開催	目 標	(指定管理候補者選定委員会開催)	()	()	()	
		実 績	平成27年度に開催見直し				
	運営内容に合致した建築・外構設計	目 標	(設計業務の実施)	()	()	()	
		実 績	設計業務の着手				
達成状況説明	土地収用法による事業認定の取得に相当な期間を要したことで、当該施設運営者(指定管理者)の公募・指定手続き等を定める施設条例の公布が平成27年度末となったため、選考会議(指定管理者選定委員会)の開催を平成27年度の早い時期に見直した。なお公募に係る要項、業務仕様書の原案は、当該年度において作成した。 平成25年度に策定した事業実施計画及び基本設計を踏まえ、生産者意見や漁業協同組合・加工事業者等の実務的見地からの意見の反映、類似施設調査などを実施し、効果的・効率的な施設運営を見据えた詳細な建築・外構設計業務を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	建築・外構工事実施設計等の作成	目 標	()	(実施設計の策定)	()	()	()
		実 績		平成27年度に策定した			
	施設運営主体の選定	目 標	()	(指定管理者の指定)	()	()	()
		実 績		平成27年度に見直した			
	進捗状況説明	建築・外構実施設計は平成27年度に繰り越し策定した。 当該施設運営に係る条例制定、公募要項及び業務仕様書原案を作成したが、施設運営主体の選定については平成27年度の早い時期に見直した。					

取組の検証	推進上の留意点 （推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証 （効率の更なる向上の視点）
	・土地収用法による事業認定において、公益性の高い施設整備・運営計画であることが認められた。 ・施設運営計画、運営に係る条例、指定管理公募要項及び業務仕様に沿った施設運営が実現可能な指定管理者を選定する必要がある。	・施設運営計画等に即した効果的かつ合理的な施設整備、出荷体制整備など供用開始に向けた諸々の取り組みを推進していくため、平成27年度の早い時期に指定管理者を選定する。
今後の取り組み方針		
平成27年度：用地取得の完了、指定管理者の指定 平成28年度：建築（直売所棟）、外構工事の実施 平成29年度：建築（産直レストラン棟）、外構工事の実施 平成30年度：施設供用開始		

今後の取り組み方針

平成27年度:用地取得の完了、指定管理者の指定
平成28年度:建築(直売所棟)、外構工事の実施
平成29年度:建築(産直レストラン棟)、外構工事の実施
平成30年度:施設供用開始

[illegible]

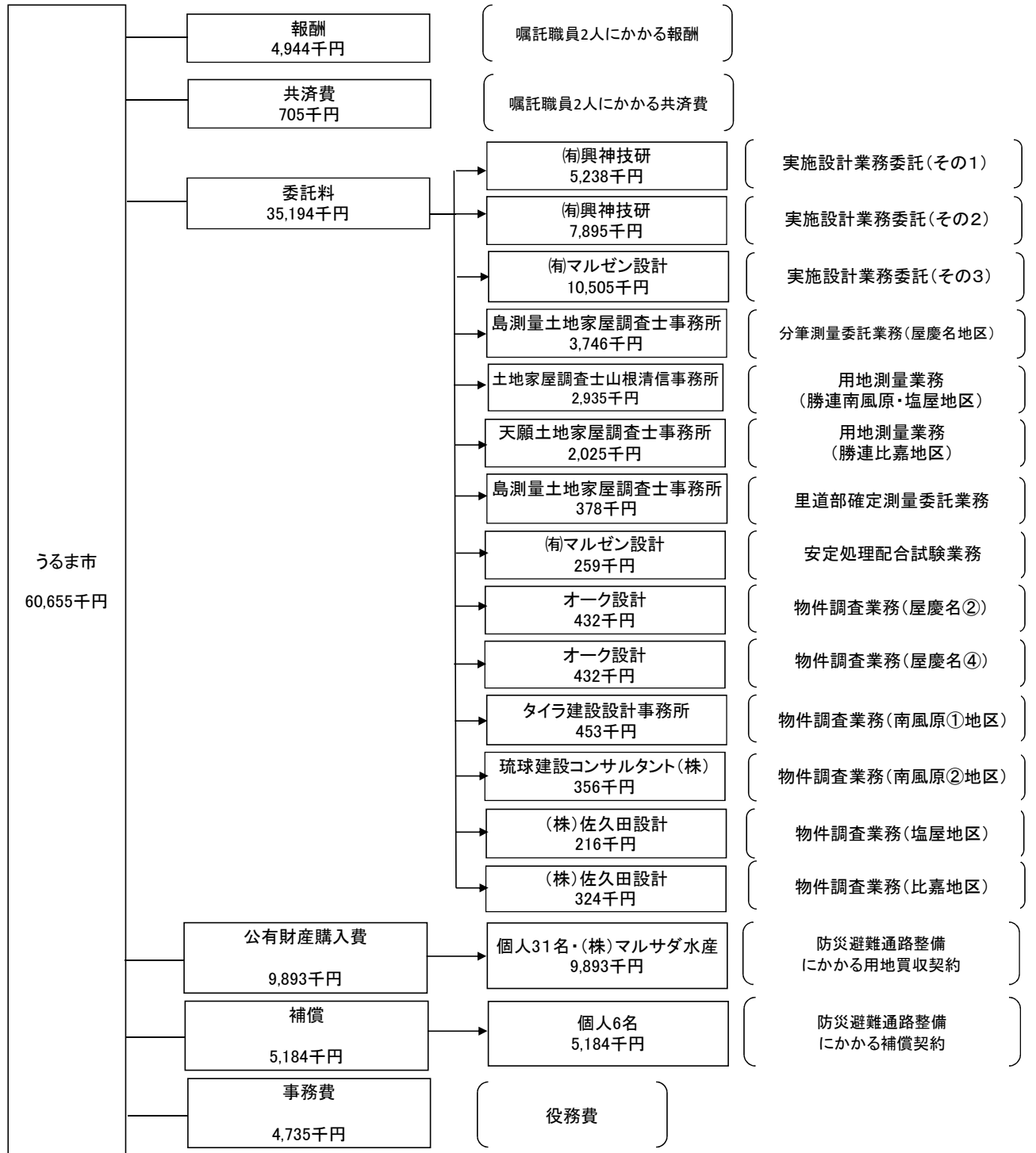
市町村名	うるま市							
平成26年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	13-①	防災避難通路整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ		
担当部課名	企画部 防災基地渉外課	事業実施(予定)年度	平成24~26年度		沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 Ⅲ-10-(2)		
事業内容	当市は沖縄本島内の市町村で最も長い海岸線を有しており、低地帯地域に居住する市民や企業等、また多くの観光客の安全・安心を確保するため、防災避難通路を整備し、きめ細かな防災基盤を構築する。							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度	26年度(繰越)	
	予算の状況	(a)当初予算額	12,996	—	51,371	—	101,890	—
		(b)予算現額	12,996	—	48,060	—	101,702	—
		(c)増減額(b-a)	0	—	▲3,311	—	▲188	—
		(d)繰越額	—	12,996	—	36,024	—	71,967
		A.計(b+d)	12,996	12,996	48,060	36,024	101,702	71,967
	B.執行済額		0	7,008	11,037	28,264	29,923	30,732
	うち交付金充当額		0	5,606	8,829	22,611	23,938	24,585
	次年度繰越額		12,996	—	36,024	—	71,967	—
	執行率(%) (B/A)		0.0%	53.9%	23.0%	78.5%	29.4%	42.7%
予算の状況の説明		実施設計業務を実施した際、里道周辺の地権者の相続関係の調整等に時間を要したこと、さらに避難通路によっては当初予定していなかった擁壁の検討や土質試験を実施する必要が生じたため、設計業務に不測の日数を要することとなり繰越することとなった。また、不用額が生じた理由については、事業用地として取得予定の一部の土地について、相続関係などの諸事情により取得が困難となったため、分筆申請業務並びに公有財産購入費に不用額が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	避難通路設計(4地区)	目標	(実施設計の実施)	(用地買収及び建設工事の実施)	(実施設計の実施)	()		
		実績	設計業務の完了	用地買収及び建設工事の完了	設計業務の完了			
	通路設計に基づく用地取得の実施	目標	()	()	(用地取得の実施)	()		
		実績			用地取得の完了			
達成状況説明	実施設計(4地区)及び防災避難通路の用地買収(49筆)を行った。 用地取得においては、未相続などの課題があったため、一部については購入することができなかったが、土地使用承諾を得ることにより、次年度以降の防災避難通路の整備については、支障なく実施できる見通しとなった。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	平成27年度に整備する防災避難通路に係る設計業務の完了	目標	()	(設計業務の実施)	(用地買収及び建設工事の実施)	(設計業務の実施)	()	
		実績		設計業務の完了	用地買収及び建設工事の完了	設計業務の完了		
	平成27年度に整備する防災避難通路に係る用地取得	目標	()	()	()	(用地取得の実施)	()	
		実績				用地取得の完了		
	進捗状況説明	防災避難通路に係る設計業務については、目標通り完了することができた。 用地取得においては、未相続などの課題があったため、一部については購入することができなかったが、土地使用承諾を得ることにより、次年度以降の防災避難通路の整備については、支障なく実施できる見通しとなった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・防災避難通路を整備するにあたって里道周辺の地権者の相続関係の調査に不測の日数を要した。 ・防災避難通路整備箇所の周りは墓地や空き地などがあり、定期的な草刈りや清掃が必要になってくる。 ・災害が起きた際に活用できるよう、地域住民等に防災避難通路及び避難所を認識してもらう取り組みが必要となる。	・相続人代表者から土地使用承諾を得るなど事業が円滑に進められるよう取り組む必要がある。 ・防災避難通路の維持管理(草刈、清掃等)については、地元自治会が主体となって適切な管理ができるようにする。 ・今後、避難通路整備を予定している地区においては、地元自治会と連携をしながら周知活動を行い、当該事業の理解促進に努める。
今後の取り組み方針		
・次年度以降に防災避難通路整備事業が滞りなく実施できるよう努めていく。 ・平成25年度事業として整備した防災避難通路の維持管理(草刈、清掃等)については、地元自治会が主体となって取り組んでいけるよう防災担当として積極的なサポートを行う。 ・毎年、11月に実施している「市地震・津波防災訓練」で防災避難通路を活用し、地域住民等に避難通路及び避難場所を周知することで災害時の安全・安心を確保する。また、訓練における個々の課題を検証しその解決に努める。		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
60,655	60,655	48,523	12,132	0



資金 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○契約の相手方は、市契約規則に基づき指名競争入札又は随意契約により決定しており適正と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、概算積算書に基づくものであり、事業内容に見合った適正な予算規模だと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、契約事務等に関する書類により確認しており、適正な支出と考えている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	